

「箱根八里（はこねはちり）」が日本遺産に認定！！

日本遺産（Japan Heritage）は、文化庁が2015（平成27）年度から創設した制度で、地域に点在する有形無形の文化財をパッケージ化し、日本の文化・伝統を語るストーリーを認定する仕組みです。

歴史的魅力にあふれた文化財群を地域主体で総合的に整備・活用し、世界に向け戦略的に発信することにより、交流人口の拡大を図り地域の活性化を図るものです。「箱根八里」の魅力を国内外に発信し、交流促進等による地域の活性化を図るため、箱根八里街道観光推進協議会（三島市、函南町及び箱根町並びに小田原市で構成／会長：三島市長）は、文化庁に日本遺産の申請を行いました。

文化庁は、日本遺産審査委員会における審査を経て、5月24日、全国で13件を日本遺産に認定しました。

ここがポイント！

- 神奈川県では4件目、静岡県では初めての日本遺産認定（H30年5月現在の日本遺産67件）
- 点から面につなげる観光ブランド戦略を展開し、地域活性化を図る
- 先を見据えた取り組みに力を入れる（地元の方に歴史や価値をしっかりと知っていただくこと）
※例えばイベントなどを開催→地元の方が改めて価値に気づく→口コミで広がる→郷土の文化財に誇りを持つ
→将来にわたって文化財を守っていくことにつながる
- 小田原市の構成文化財は、小田原城跡、かまぼこ通り、ういろう
- 箱根町の構成文化財は、箱根旧街道（石畳）（一里塚）（杉並木）、畑宿の集落、寄木細工、甘酒茶屋、芦ノ湖と箱根神社、箱根関所跡

◆認定された日本遺産の概要◆

○タイトル 旅人たちの足跡残る悠久の石畳道 — 箱根八里で辿る遙かな江戸の旅路

○ストーリーの概要

『天下の険』と歌に唄われた箱根山を東西に越える一筋の道、東海道箱根八里。

江戸時代の大幹線であった箱根八里には、繁華な往来を支えるために当時の日本で随一の壮大な石畳が敷かれました。西国大名やオランダ商館長、朝鮮通信使や長崎奉行など、歴史に名を残す旅人たちの足跡残る街道をひととき辿れば、宿場町や茶屋、関所や並木、一里塚と、道沿いに次々と往時のままの情景が立ち現われてきて、遙か時代を超え、訪れる者を江戸の旅へと誘います。

箱根町企画観光部観光課 担当：武藤 淳一郎 連絡先 0460-85-7410
箱根町教育委員会生涯学習課 担当：鈴木 康弘 連絡先 0460-85-7601
〒250-0398 神奈川県足柄下郡箱根町湯本 256 番地
FAX 0460-85-6815 e-mail : kankou@town.hakone.kanagawa.jp